

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	修繕必要橋梁数（判定Ⅲ）	橋	目標	13.00	8.00	0.00
			実績	13.00	8.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	道路法により橋長2m以上の橋梁は5年に1度の定期点検が義務付けされている。市内の多くの橋梁が建造から50年以上経過し、経年劣化が進んでいる。安全な道路構造物を適正にかつ経済的に維持管理を行っているものであり必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	橋梁管理者である市が行う事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	橋梁長寿命化修繕計画に従い維持管理を行うことは、経費の削減、平準化につながることであり妥当な施策である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	橋梁長寿命化修繕計画に従い定期的な点検、適正な修繕工事を行うことにより、経費の削減を行っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内の橋長2m以上の橋梁全てが対象となっており公平性は確保されている。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	経年による橋梁の劣化、崩壊等による事故は発生していないものの、予防と将来に向けた経費削減を目的としており判定は困難である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	国補補助事業として採択率が高い事業となっているため、順調な計画遂行が期待できる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
安全な道路施設を提供するという責務を全うする事業であり、非常に重要な事業である。橋梁長寿命化修繕計画に基づいた維持管理により事業費の削減、平準化を図るが、毎年度の総事業費の平均が5千万円前後となっており、莫大な事業費であることは否めない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
新技術の導入など、さらなる経費削減を講じていく必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 結城市が管理する228橋について橋梁長寿命化修繕計画に基づき経済性、耐久性を考慮しながら改革性に実施する。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり